

大観の代表作「無我」きたる

—— 期間限定公開 ——



※前期展示

横山大観「無我」(部分) 1897年/29歳

掲載画像はいずれも水野美術館蔵

近代日本画を築いた
二人の挑戦

横山大観と菱田春草



菱田春草「朝之牡丹」(部分) 1906年/32歳

2025
10/3 → 11/30
[金] [日]

会期中
無休

※会期中、一部展示替えがあります
【前期】10月3日(金)～11月3日(月・祝)
【後期】11月4日(火)～11月30日(日)

開館時間 午前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで)
入館料 一般1,000円(4枚セット券3,000円)／大学生800円
高校生500円／中学生以下無料
主催 公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム
後援 中日新聞社、朝日新聞社、読売新聞社、三重テレビ放送
協力 水野美術館
企画協力 株式会社アートワン

関連イベント

※イベントの詳細については、公式HPをご確認ください

● 記念講演会
「水野美術館コレクションから辿る大観・春草」
日時：10月26日(日) 午後2時～3時30分
講師：野口春花(水野美術館学芸員)
参加料：無料(要入館券)

● パラミタコンサート
「大観と春草の時代の作品集」
日時：11月2日(日) 午後2時～3時
演奏者：浅岡容子(フルート)、山内敦子(ピアノ)
参加料：無料(要入館券)

近代日本画を築いた
二人の挑戦

横山大観と菱田春草

明治期、新たな時代にふさわしい「日本画」の創造という岡倉天心の理想に共感し、近代日本画の確立に大きく貢献した横山大観（よこやま たいかん／1868-1958）と菱田春草（ひしだ しゅんそう／1874-1911）。大観は明治22年、春草は明治23年に東京美術学校（現・東京藝術大学）に入学し、在学当時から親交を結びます。明治31年、二人は岡倉天心の指導理念のもと創設された日本美術院の創立に参加。この頃、試みていた没線描法が世間から「朦朧体」と酷評を受けるも、二人はあきらめることなく切磋琢磨しあいながら画業に励みました。

本展は、春草ゆかりの長野県において、初期日本美術院の代表的な作品を数多く所蔵する水野美術館の貴重なコレクションから選りすぐりの作品で構成し、89歳まで生きた大観と36歳で夭逝した春草、二人の画業と挑戦をあらためて顕彰します。



横山大観「双龍争珠」1929年／61歳



菱田春草「双美摘草」1901年／27歳



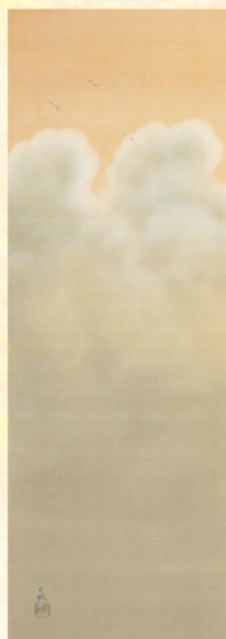
横山大観「牧童」1898年／30歳



菱田春草「秋草に鶏」1898年／24歳



横山大観「曉山雲」1919年／51歳



横山大観 菱田春草「旭日静波」(左右大観・中央春草)1901年頃／大観33歳頃・春草27歳頃



菱田春草「岸樹秋風之圖」1910年頃／36歳頃

掲載画像はすべて水野美術館蔵

次回展示のお知らせ

会期 2025.12.5(金) ▶ 2026.2.1(日) ※2025.12.28(日) ▶ 2026.1.1(木・祭)は休館

こわくて、たのしいスイスの絵本展

クライドルフ、フィッシャー、ホフマンの世界

スイスは多くのすぐれた絵本画家を輩出した国であり、その絵本は日本でも出版され、現在も愛されています。『花のメルヘン』のエルンスト・クライドルフ、『プレーメンのおんがくたい』『こねこのびっち』のハンス・フィッシャー、『おおかみと七ひきのこやぎ』のフェリックス・ホフマンは、その代表的な人物たちです。本展では、クライドルフの初版外グラフィック、フィッシャーとホフマンの手描き絵本や原画などを紹介します。おなじみのグリム童話や、スイスの伝説……。少し怖いけれど、とても楽しいスイスの絵本をご堪能ください。

■お車をご利用の場合／○東名阪「四日市」より湯の山温泉方面へ約6.5km。○新名神「飯野」より約4km。■無料駐車場有り(普通車100台、大型バス駐車可)
■電車をご利用の場合／近鉄「四日市駅」より近鉄湯の山線にて約25分。「大羽根園駅」下車、湯の山温泉方面へ300m。■全館バリアフリー、車椅子常備



paramitamuseum

公益財団法人岡田文化財団 パラミタミュージアム 〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6
Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077 E-mail office@paramitamuseum.com
https://www.paramitamuseum.com Facebook (@paramitamuseum) Instagram (@paramitamuseum) X (@paramita_muse)

